禁転載複製

「中央職業能力開発協会編」

令和８年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

生産管理分野

２級　生産管理オペレーション

試　験　問　題

（16 ページ）

１．試験時間　110 分

２．注意事項

（１）　試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。

（２）　表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。

（３）　試験問題は、40題あります。

（４）　試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。

（配　　点）問題１～問題40　　各2.5点　　合計100点

（合格基準）試験全体として概ね60%以上の正答。

（５）　関係法令、会計基準、ＪＩＳ等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和８年５月１日時点で施行されている内容に基づくものとします。

（６）　マークシートにマークする際には、ＨＢ又はＢの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。

（７）　計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。

（８）　問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを１つだけ選んで間違えないようにマークしてください。

（９）　試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。

(10)　試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。

(11)　試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。

(12)　試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

(13)　試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。

(14)　カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。

(15)　試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

３．その他

この試験については、電子式卓上計算機（電池式又はソーラー式で、四則計算、√、%、メモリ（MR、M±）等の標準的な機能を有するもの）を使用することができます。ただし、関数電卓、文字の記憶機能を有する機種は使用できませんので注意してください。

禁転載複製

問題１　作業管理の活動目的に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．作業管理の活動目的の１つには、最も合理的で生産性の高い作業方法の発見・追求する活動である作業改善を行うことがある。
イ．作業管理の活動目的の１つには、納期遵守や適正在庫量の維持を目指した生産計画の精度向上を行うことがある。
ウ．作業管理の活動目的の１つには、作業方法、材料、設備、工具、作業環境などの作業の標準化を行うことがある。
エ．作業管理の活動目的の１つには、標準的な作業者による課業遂行時間を見積もることで、ある標準作業と標準時間の設定を行うことがある。
オ．作業管理の活動目的の１つには、設定された作業方法を適切に指導することによって、作業標準の維持を行うことがある。

問題２　標準時間に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．適切な標準時間を設定する際に考慮する習熟曲線の概形は、横軸に作業の繰り返し数、縦軸に作業時間をとった図において、最初に急激に、その後、次第に緩やかになりながらある一定の作業時間値に収束するといえる。
イ．標準時間における準備段取作業時間は、本来の作業のための準備・段取・後始末・運搬など、ロットごと、もしくは始業の直後及び終業の直前に発生する作業の時間である。
ウ．標準時間における正味時間は、作業の中で規則的、周期的に繰り返される部分の時間をいう。
エ．標準時間における職場余裕は、作業を遂行する上で必要な作業要素であるが、不規則的・非周期的な作業要素であるために正規時間に入れることができない作業と、その作業に特有の避けることのできない作業の中断である。
オ．標準時間における正味時間は、直接時間設定法もしくは間接時間設定法の中から適切な手法を選択して設定する。

問題３　作業環境の設計に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．作業環境として考慮する条件には、物理的・科学的条件があり、心理的条件は、対象としていない。
イ．臭気が発生する作業において、臭気強度から必要換気量を定める際は、作業場の室温も考慮する。
ウ．装置から発生する騒音を密閉化し、騒音吸収材を使用しても、対応措置が不十分な場合は、耳栓や耳覆い、防音頭巾などの着用を作業条件とする。
エ．不要なエネルギー消費を避けるためには、全般照明でなく、補助灯や手元灯などの部分照明によって、作業に必要な最小限の照明を確保する必要がある。
オ．作業環境を整備する際、人間工学的に設計された職場や設備を考慮することが望ましい。

禁転載複製

問題４　労働安全衛生規則に基づく作業者の休養への配慮措置に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．持続的に立ち仕事をしている作業者には、しばしば座ることができる機会のあるとき、当該労働者が利用することのできるイスを用意しなければならない。
イ．夜間に勤務する労働者に睡眠を与える必要がある場合には、仮眠の場所などを設けなければならない。
ウ．多量の発汗を伴う作業場においては、作業者に与える塩、飲料水などを備えなければならない。
エ．常時50人以上、又は、常時女性30人以上の労働者を使用するときは、休養室又は休養所を男女別に設けなければならない。
オ．有毒なガスや粉じんを発散する作業場においては、作業場の内部に休憩の設備を設けなければならない。

問題５　職場の改善の進め方に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．継続的な改善を進めるには、直面する現実の課題に一つひとつの段階を追って対応することが重要であり、理想の追求という考え方は適切ではない。
イ．工程改善は、工程分析などの手法を用いて一つ又は複数の工程の効率化を図る活動である。
ウ．改善における分析的アプローチでは、まず、現状の問題点を的確に発見することが重要である。
エ．改善のために現状を観察し、問題点を分類して、部分から全体を考察する場合は、帰納的アプローチが中心となる。
オ．ナドラーが提唱したワークデザインの考え方は、基本的に設計的アプローチといえる。

問題６　職場改善における目標の設定に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．設定された目標の達成を効果的にするためには、現場の管理者に対しては、目標管理の意義や内容、進め方などを正しく理解するための教育を徹底することが必要である。
イ．目標設定には、その目標を達成するための活動計画の裏付けが不可欠である。
ウ．自己啓発を主眼とした目標設定においては、企業や上司の目標とできるだけ一貫性をもった目標を選択し、全体的な成果に結び付くようにする。
エ．目標は、努力すれば達成できるものとし、長期的目標と短期的目標のバランスをとるようにする。
オ．目標設定では、効率よく成果を上げるために、同時に改善を実施するよう総合的にできる限り多くの目標項目を採用する。

禁転載複製

問題７　職場レイアウトの考え方に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．詳細レイアウトでは、工場全体の建屋配置や職場配置を検討する。
イ．職場レイアウトは、職場機能に関わるものであるから、作業者の快適性には影響しない。
ウ．職場レイアウトでは、将来の変更を考慮することなく、常にその時点での最善な配置を考える。
エ．作業空間内の設備や治工具などの配置は、職場レイアウトの検討に含まれない。
オ．詳細レイアウトは、工程編成に基づいて計画する。

問題８　工程分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．工程分析には、製品や仕掛品などのモノを対象として分析する製品工程分析と、作業者を対象として分析する作業者工程分析などがある。
イ．工程図記号における「○」は、原料、材料、部品又は製品の形状、性質に対して変化を与える過程を表している。
ウ．工程図記号における「⇨」は、原料、材料、部品又は製品の場所や位置に対して変化を与える過程を表している。
エ．工程図記号における「▽」は、原料、材料、部品又は製品が計画に反して滞っている状態を表している。
オ．工程図記号における「□」は、原料、材料、部品又は製品の量又は個数を測り、その結果を基準と比較して差異を知る過程を表している。

問題９　負荷と能力に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．余力は、負荷工数から生産能力を引くことにより、算出できる。
イ．生産能力の過不足の状態を把握する方法として、工数山積み表がある。
ウ．負荷工数と生産能力を調整することを、山崩しという。
エ．機械・設備の増強は、負荷工数＞生産能力の場合の対策の１つである。
オ．製造オーダの投入日時の後倒しは、負荷工数＞生産能力の場合の対策の１つである。

禁転載複製

問題10　日程計画に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。なお、ＣＰＭはCritical Path Method、ＰＥＲＴはProgram Evaluation and Review Techniqueである。

ア．ガントチャートは、一般に横軸に機械や作業者などの手段をとり、縦方向に時間をとり、作業の計画や進捗状況を示す。
イ．ネットワーク技法におけるＣＰＭは、工期と費用の関係を調整する機能をもち、最小の増加費用で工期の短縮を図ることをねらいとしている。
ウ．ＰＥＲＴでは、各作業の全余裕時間を以下の式で求める。
「全余裕時間＝後にある最遅結合点時刻－前にある最早結合点時刻＋処理時間」
エ．ディスパッチングルールの１つである仕事の納期順とは、納期から残りの作業時間の合計値を差し引いた値の大きい順に仕事を行うルールである。
オ．フォワード法は、完成予定日（納期）を基準にしてスケジュールを作成する方法である。

問題11　工程管理に必要な情報に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。なお、ＰＯＰはPoint of Production：生産時点情報管理である。

ア．小日程計画に従って製造現場で実際に製造するために用いる差立では、現在の作業量を把握し、作業者や設備の能力とのバランスを調整することで工数計画の修正を行い、計画された納期を確保することができる。
イ．生産計画から出力される管理情報には、製造手配・在庫管理・購買管理に利用される購買オーダと、製造管理における小日程計画とそれに基づく製造指示へとつながる生産オーダの２種類の流れがある。
ウ．移動票は、運搬担当者に対して、対象とするもの（資材・製品・部品等）の工程順序、作業順序に対応した経由場所を表示したもので、作業票と一緒に渡される場合が多い。
エ．カムアップシステムを用いて月単位でサプライヤーに納期の督促を行う場合には、納期確認用と納期確認済みの箱を用意し、それぞれに日ごとのカムアップファイルを作成しておくことで、簡単に納期管理を行うことが可能である。
オ．ＰＯＰでは、工場の現場から発生する様々な生産実績情報を直接的に採取し、リアルタイムに処理して現場監督者に必要な情報を提供することで判断結果を現場に即時に指示することをねらいとする。

問題12　設備投資において採算性と生産性の向上への寄与に期待される設備の重要なキーファクターの１つとして最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．適合性
イ．利便性
ウ．可用性
エ．信頼性
オ．耐久性

禁転載複製

問題13　故障率及びバスタブ曲線に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．平均故障間隔は、設備が故障してから、修復されて運用可能状態になるまでの時間間隔である。
イ．平均修復時間は、故障した設備を運用可能状態へ修復するために必要な時間の平均値である。
ウ．バスタブ曲線における初期故障期は、設備が故障した直後の時期を示す。
エ．バスタブ曲線における偶発故障期は、設備故障の発生が少ないため、故障発生の予測がしやすい。
オ．バスタブ曲線における摩耗故障期は、事後保全や日常保全の活動が重要である。

問題14　保全に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．設備の劣化傾向管理は、診断技術などによって管理する活動である。
イ．停止損失は、設備故障に起因して設備が停止することによってもたらされる損失である。
ウ．劣化損失は、設備劣化による性能低下に起因する損失である。
エ．保全費は、未使用の保全用予備品の在庫費用を除く、補修費や社内労務費などから構成される。
オ．保全周期は、予防保全を実施する際に、対象設備ごとに定められた定期点検、定期診断、定期部品交換、定期修理などを行う周期である。

問題15　経済性分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．経済性工学は、設備投資案の比較などの経済性評価に関する意思決定問題に対する考え方と分析手法の体系である。
イ．経済性分析を行うためには、比較の対象を明確にし、複数の代替案について経済的指標を比較する、比較の原則が重要である。
ウ．正味資本のフローは、資金・利益・利率などの時系列に従った資金の流れを指している。
エ．終価係数は、期間の最終時点の価値である終価から現在の価値である現価を求めるための係数である。
オ．排反案は、ある問題に対する解決策として立案された複数の代替案について、ある案を選択すると他の案は選択できない場合の問題における代替案である。

禁転載複製

問題16　資材管理組織で担当する一般的な管理機能として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．運搬管理機能
イ．倉庫管理機能
ウ．販売管理機能
エ．在庫管理機能
オ．購買管理機能

問題17　購買方式に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．随意契約方式は、購買先が数社に限定されている場合、順番を決めて購買する方式である。
イ．当用買い方式は、価格に変動がある資材を相場が低落したと思われる時期に、多量にまとめて購入する方式である。
ウ．系列購買方式では、取引が安定していることから、価格面でも割安になる。
エ．競争入札方式は、数社の購買先から見積書をとり、最低価格の業者から購買する方式である。
オ．特命購買方式は、得意先から購入して、互いに売上高を増大させる購買方式である。

問題18　外注品の品目形態による分類として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．製品外注
イ．粗型材外注
ウ．加工外注
エ．一貫外注
オ．部品外注

禁転載複製

問題19　以下の＜事例＞における、Ｙ社の在庫削減対策に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

Ｙ社は、資本金２億円、従業員（パートタイマーを含む）350名の中型の機械装置を設計・調達・生産・販売をしている中規模機械専門メーカーである。生産高の80％は部品中心生産方式の受注生産で、残り20％はＹ社仕様の製品を見込生産しているが、取引先（購買先や外注先）や取扱部品点数も多く、その管理は容易ではない。

部品在庫が高水準であることから、大幅な部品在庫削減を図るよう経営トップから強い指示があった。そこで、工場長が中心となり、部品在庫削減を図ることにした。

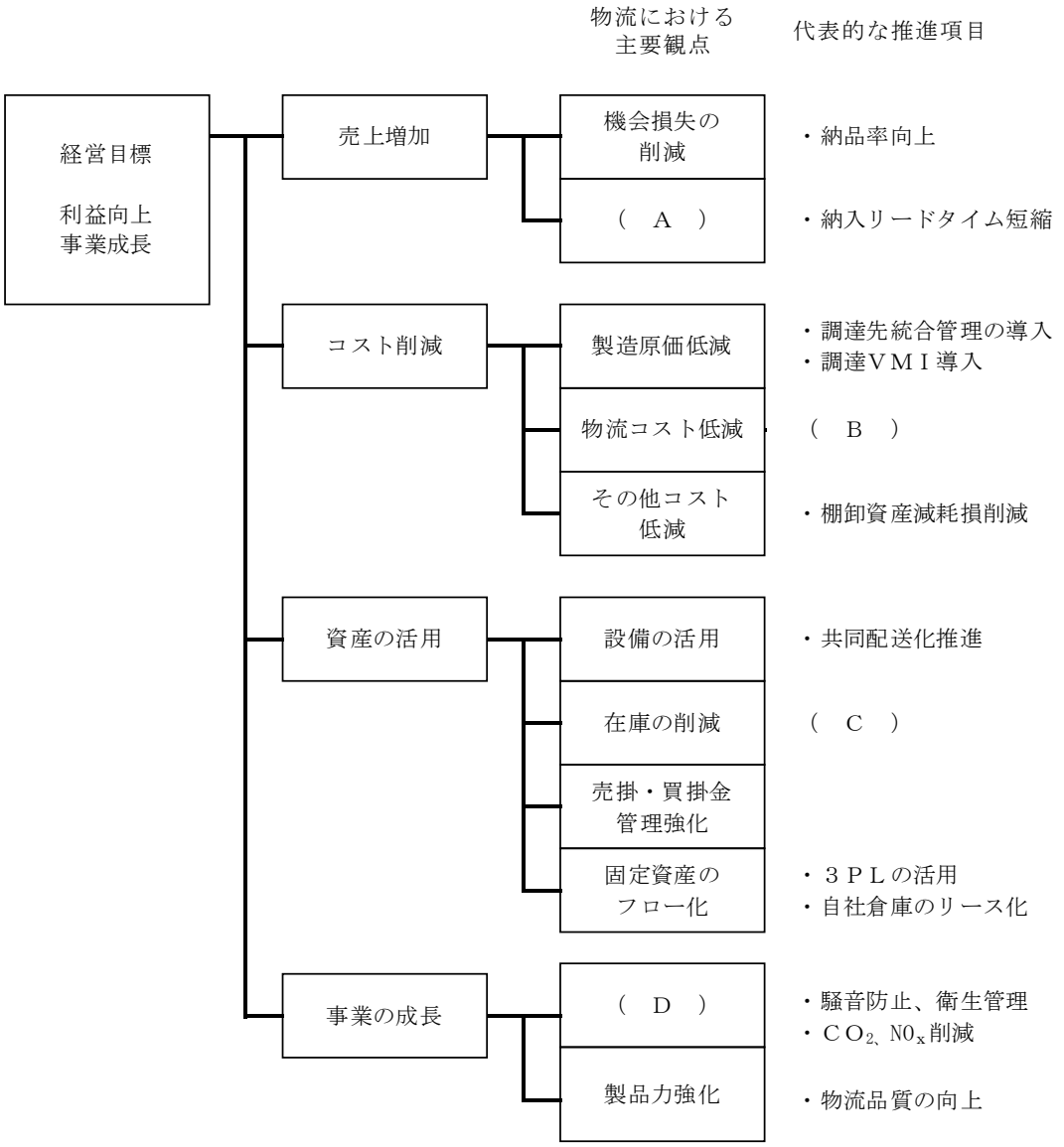
ア．在庫品を調査し、適正在庫量を設定するとともに不要在庫を処分する。
イ．取引先の削減と部品の標準化の推進による部品品種数の削減を図る。
ウ．発注システムの改善により適正在庫を維持するとともに、在庫精度を高めるために情物一致の徹底を図る。
エ．工場長を中心とした在庫削減プロジェクトチームを設置し、在庫改善を組織的に進める。
オ．部品を価格により高価格帯・中価格帯・低価格帯に分類し、高価格帯に属する部品は一切在庫せずに都度発注し、在庫残高の削減を図る。

問題20　価値工学における価値の測定尺度は、Ｖ（価値）、Ｆ（機能）、Ｃ（コスト）の関係式で表される。ＦとＣの関係から価値が高まる方策として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．Ｆを２倍にし、Ｃを１／２にする。
イ．Ｆを1.5倍として、Ｃを一定とする。
ウ．Ｆを一定にして、Ｃを１／３にする。
エ．Ｃを1.5倍とし、Ｆを３倍にする。
オ．Ｃを２倍にし、Ｆを1.5倍とする。

禁転載複製

問題21　下図は、経営目標と物流との関連を示すものである。（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものは、次のうちどれか。



ア．Ａ：顧客サービス向上　　Ｂ：車両コスト削減　　Ｃ：入庫多頻度化
　　Ｄ：温暖化防止
イ．Ａ：売掛金早期回収　　Ｂ：輸送コスト削減　　Ｃ：在庫管理精度向上
　　Ｄ：企業の社会的責任の向上
ウ．Ａ：顧客サービス向上　　Ｂ：通信コスト削減　　Ｃ：倉庫の保管効率向上
　　Ｄ：温暖化防止
エ．Ａ：売掛金早期回収　　Ｂ：車両コスト削減　　Ｃ：倉庫の保管効率向上
　　Ｄ：企業の社会的責任の向上
オ．Ａ：顧客サービス向上　　Ｂ：輸送コスト削減　　Ｃ：在庫管理精度向上
　　Ｄ：企業の社会的責任の向上

禁転載複製

問題22　商品の製造拠点から、中間の物流拠点を経由せずに直接販売店へ配送する直送方式のメリットとして最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．輸配送のリードタイムを短縮できる。
イ．中間の物流拠点を経由しないことから、製造拠点において販売店への出荷状況を直接把握することができ、増減産への対応が迅速に行える。
ウ．中間の物流拠点の在庫を削減できる。
エ．中間の物流拠点におけるトラックからの商品の積降ろし・積込みの荷役作業を削減できる。
オ．中間の物流拠点を経由せずに複数の販売店に直接配送することにより、トラックの積載効率が向上する。

問題23　物流効率の管理指標に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．倉庫の保管効率は、保管貨物の総体積÷倉庫面積で求められる。
イ．保管効率と入出庫効率とは正の相関がある。
ウ．倉庫の入出庫効率は、一定時間当たりの入出庫貨物の総個数÷荷役人員数で求められる。
エ．出庫作業時に出庫品名・出庫数を在庫ロケーション順に記載したリストを使用すると、最小の移動距離で出庫作業を行うことができ、入出庫効率を高められる。
オ．入出庫効率は、保管する貨物の特性に合った入出庫作業用の自動機・省力機器を導入することにより高めることができる。

問題24　ＷＭＳの機能として最も不適切なものは、次のうちどれか。なお、ＷＭＳはWarehouse Management Systemである。

ア．検品管理
イ．ピッキング管理
ウ．返品管理
エ．棚卸管理
オ．配車管理

禁転載複製

問題25　産業廃棄物の処分に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．排出事業者は、廃棄物を自社処分できない場合、許可を取得した収集運搬業者、中間処理業者、最終処分業者などの処理業者と委託契約を結び、適正処理を委託する。
イ．排出事業者は、産業廃棄物管理票に産業廃棄物の名称、数量、処理業者名などを記載し、廃棄物の流れを自ら把握・管理し、適正処理の流れを最後までチェックする必要がある。
ウ．収集運搬業者は、排出事業者から出た産業廃棄物について、必要に応じて性状を変更して中間処理施設や最終処分場へ運搬することができる。
エ．中間処理業者は、最終処分を行うための脱水や焼却・中和等の中間処理を行う。併せて廃棄物の分別や粉砕による減量化を行う。
オ．最終処分業者は、最終処分場に埋立てなどをして最終処分をする。

問題26　品質管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．全社的品質管理では、検査を厳しくして不適合品を流出させないことが重要である。
イ．設計品質では、顧客の要求する事項を最大限に取り入れるが、自社のコストは考慮しない。
ウ．品質管理は、生産者が自ら考えて決定した品質の品物又はサービスを、経済的に作り出すための手段の体系である。
エ．品質管理活動では、常に現状の品質水準の維持に重点が置かれ、一般に改善活動は含まれない。
オ．製造品質については、不適合品の発生による損失と品質管理費用のバランスを考慮することが必要である。

問題27　ある製品の長さの分布が平均32mm、標準偏差６mmの正規分布に従う場合に、長さ20mmから44mmの製品の全体に占める割合として適切なものは、次のうちどれか。ただし、標準正規分布表の確率変数が、０～１、０～２、０～３の範囲に入る確率は、それぞれ、0.3413、0.4772、0.4987とする。

ア．34.13%
イ．47.72%
ウ．68.26%
エ．95.44%
オ．99.74%

禁転載複製

問題28　不適合品の発生時における真の原因を追究するポイントに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．問題の現象をデータ等で客観的に把握する。
イ．現象が発生する要因を漏れなく抽出する。
ウ．現象と要因との間の関係をブレインストーミングで検討する。
エ．対策がとれるレベルまで「なぜ、なぜ」を繰り返す。
オ．解析が終わったら、理論的に正しいかをさかのぼってチェックする。

問題29　品質保証体系における各部門の役割として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．経営部門：品質方針の決定
イ．設計部門：デザインレビューの実施
ウ．製造部門：設備の日常管理
エ．出荷部門：誤配送の防止のための倉庫・出荷管理
オ．販売部門：製品の価格の設定

問題30　原価管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．実際原価計算は、企業外部の利害関係者への情報提供とは関係しない活動である。
イ．原価維持は、製造段階での原価低減を行う活動である。
ウ．部門別計算では、各原価部門へ直接費を配賦計算する。
エ．原価企画には、製品の企画・開発・設計段階での原価低減が含まれる。
オ．原価改善は、標準原価計算を活用して製品の企画・開発・設計に役立てる活動である。

問題31　固定費と変動費に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．操業度が上がるとそれに応じて発生額も増える原価は、変動費と呼ばれる。
イ．操業度のいかんにかかわらず、給料や減価償却費のように増減と関係なく発生する原価は、固定費と呼ばれる。
ウ．変動費に着目して計算する原価計算を直接原価計算、もしくは部分原価計算と呼ぶ。
エ．変動費と固定費の区分は、損益分岐点分析において使用される。
オ．限界利益は、売上高から固定費を差し引いた数値である。

禁転載複製

問題32　以下はある月の製造指図書No.11～No.13についての原価計算表である。＜条件＞に基づき原価計算表の（　a　）に該当する数値として適切なものは、次のうちどれか。

＜条件＞
①製造間接費は、直接材料費を基準にして配賦する。
②製造間接費の実際額は、98,000円である。

原　価　計　算　表

（単位：円）

費目＼製造指図書	No.11	No.12	No.13
月初仕掛品	30,000	－	16,000
直接材料費	24,000	30,000	26,000
直接労務費	16,000	24,000	20,000
直接経費	38,750	11,250	－
製造間接費	（　　）	（　　）	（　　）
合　計	138,150	102,000	（　a　）

ア．24,500
イ．29,400
ウ．31,850
エ．81,600
オ．93,850

問題33　以下の＜資料＞におけるＡ～Ｃの注文について、利益を最大化する受注の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。なお、当工場の手持ち時間は30時間である他、＜資料＞に記載のない費用は、全て固定費であり、埋没原価とする。

＜資料＞
・直接原価計算の情報

注文	売上高（万円）	材料費（万円）	限界利益（万円）	作業時間（時間）
A	70	40	30	10
B	40	15	25	15
C	60	30	30	20

ア．Ａのみ受注
イ．Ｃのみ受注
ウ．Ａ、Ｂを受注
エ．Ａ、Ｃを受注
オ．Ｂ、Ｃを受注

禁転載複製

問題34　生産計画に基づいて生産を行う際に納期遅延が発生した場合の遅延回復の対策に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

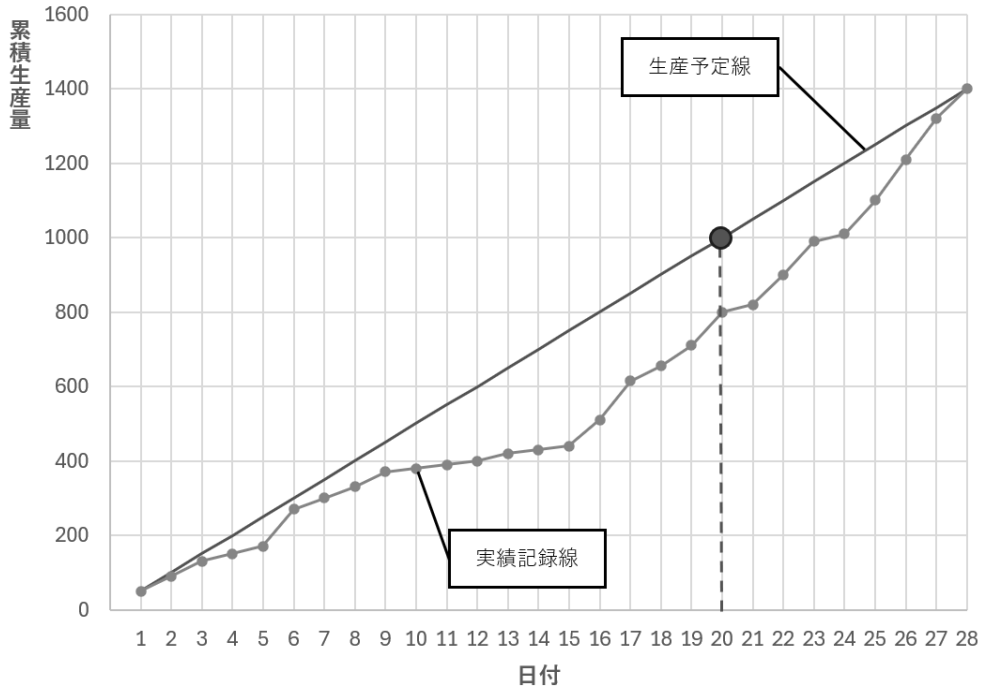
ア．納期遅延回復の対策には、生産順序の変更と生産能力の増加がある。
イ．ある注文に納期遅延が発生した時点で、その注文に関連する全ての工程に対して優先して処理することを知らしめることが納期遅延回復の対策として有効である。
ウ．納期遅延回復の対策として、納期に余裕のある仕事の優先度を上げて処理を行う方法がある。
エ．工程ごとにその工程にある仕掛品の生産順序を変更する場合には、各工程の担当者がディスパッチング法を用いて優先順序を決めることが有効である。
オ．納期遅延が想定される際に、受注残をある程度持っている場合には、生産順序の変更を行う対策を採ることができる。

問題35　初期流動管理に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．試作・評価以降の設計変更をできる限り少なくするためには、構想設計段階・基本設計段階・詳細設計段階・生産準備段階の節目においてデザインレビューを行うことが有効である。
イ．初期流動期間を短くするためには、シミュレーションを活用したり、自動化機械・設備のプログラムや制御システムの精度を上げることが有効である。
ウ．生産初期における手順計画立案に際しては、作業に不慣れな点を考慮して、着手及び完了時点に余裕をもたせるとよい。
エ．初期流動期間においては、事前に考えの及ばなかった作業方法が見出されることがあるので、安定した生産が可能になってから作業標準書を作成するとよい。
オ．生産初期においては、不適合品が顧客にわたることを防ぐために、通常よりも厳密な検査を行う。

禁転載複製

問題36　以下に示す製造三角図に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。



ア．１日から５日までの時間当たりの生産数量は、24日から28日までの時間当たり生産数量より多い。
イ．この月は生産が計画より遅れていたが、最終的には予定生産数を達成できている。
ウ．10日以降生産の遅れが大きくなっており、対策を取る必要があることがわかる。
エ．20日時点で生産予定より４日遅れていることがわかる。
オ．20日時点で生産予定より200個遅れていることがわかる。

禁転載複製

問題37　労働災害の発生状況に関する以下の記述において、（　　）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものは、次のうちどれか。

一般に、職場等の労働災害発生状況を示す尺度として、度数率と強度率とがある。度数率は、一定期間中の100万労働時間当たりに発生する（　A　）で示し、度数率が大きい程、発生頻度が（　B　）ことを表している。また、強度率は、1,000延べ実労働時間当たりの（　C　）で示し、強度率が（　D　）ほど、重篤な災害が発生したことを表している。

＜語群＞
1．休業日数　　2．死傷者数　　3．労働損失日数
4．高い　　5．低い　　6．大きい　　7．小さい

ア．A：1　B：4　C：3　D：7
イ．A：2　B：4　C：3　D：6
ウ．A：2　B：5　C：1　D：7
エ．A：3　B：4　C：2　D：7
オ．A：3　B：5　C：2　D：6

問題38　労働安全衛生法に定める機械等の規則並びに設備安全化に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ボイラー等特段の設備管理を必要とする特定機械等に関しては、落成検査を経て一定期間ごとの性能検査等各種検査が義務づけられている。
イ．特定機械等以外の機械等で、労働安全衛生法に掲げる機械は、厚生労働大臣が定める規格または安全装置を具備しなければ、譲渡・貸与・設置・使用してはならない。
ウ．事業者は、個別検定該当機械等で検定合格の表示がないものを使用してはならない。
エ．作業者の注意力に依存する方法は第二義的に考え、機械・設備そのものの安全化を検討し、人間のミスを機械・設備が補うよう本質安全化を進める必要がある。
オ．フェールセーフは、人為的に不適切な行為、過失などが起こっても、システムの信頼性及び安全性を保持する性能のことである。

問題39　環境基本法で公害として扱われている、いわゆる典型７公害に含まれているものは、次のうちどれか。

ア．交通渋滞
イ．日照
ウ．地盤沈下
エ．温暖化
オ．電波障害

禁転載複製

問題40　ISO14001環境マネジメントシステムに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．トップマネジメントは、環境方針の提案を行う役割を担うため、責任権限は持っていない。
イ．環境マネジメントシステムを運用するために行う監査では、内部監査より外部監査が重要視される。
ウ．環境側面は、ISO14001 で定められた項目から選択して設定する。
エ．環境マネジメントシステムの対象範囲には、品質の改善による生産性の向上が含まれる。
オ．環境マネジメントシステムの導入は、一般の企業だけでなく自治体や学校まで広がっている。